

平成27年1月24日(土)

厚生労働省補助事業セミナー

医療情報システムと新たな電子認証

医師資格証について

岩手県医師会常任理事

逢坂 宇一



Medical Doctor Qualification Certificate
医師資格証

Name: Uichi Osaka
氏名: 逢坂 宇一

Date of birth: 02 JUL 1946
生年月日: 昭和21年07月02日

JMA Membership ID No: 0000093771
日本医師会ID番号

Medical License No: 216722
医師登録番号

Date of expiry: 25 Feb 2020
有効期限: 平成32年02月29日

上記の者は、医師であることを証明する。
We hereby certify that the person whose name appeared in a Medical Doctor

氏名: 逢坂 宇一
ID番号: 0000093771
Date of issue: 01 MAR 2014
発行日: 平成26年03月01日

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION
公益社団法人 日本医師会

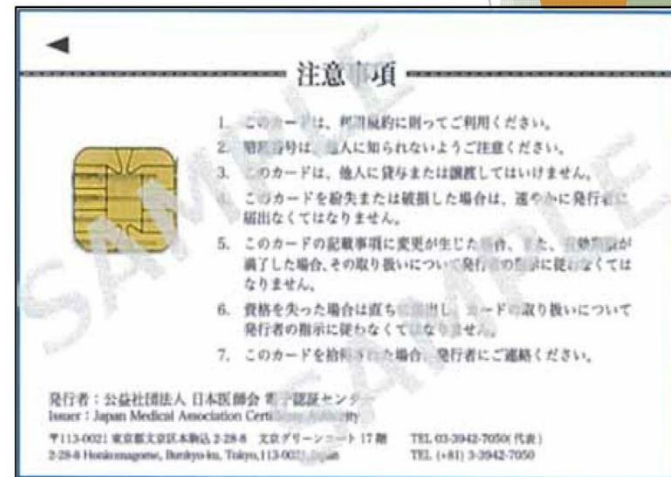
2015/01/05

医師資格証

日本医師会（電子認証センター）が発行するICカードの券面を「医師資格証」としました。

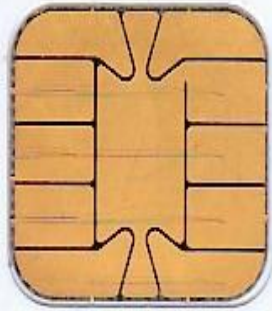


(表)



(裏)

注意事項



1. このカードは、利用規約に則ってご利用ください。
2. 暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。
3. このカードは、他人に貸与または譲渡してはいけません。
4. このカードを紛失または破損した場合は、速やかに発行者に届出なくてはなりません。
5. このカードの記載事項に変更が生じた場合、また、有効期限が満了した場合、その取り扱いについて発行者の指示に従わなくてはなりません。
6. 資格を失った場合は直ちに届出し、カードの取り扱いについて発行者の指示に従わなくてはなりません。
7. このカードを拾得された場合、発行者にご連絡ください。

発行者：公益社団法人 日本医師会 電子認証センター
Issuer：Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート 17 階
2-28-8 Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0021, Japan

TEL 03-3942-7050(代表)
TEL (+81) 3-3942-7050

医師資格証の説明の前に、
日医認証局について



日本医師会電子認証センターを設置（事業概要）

日本医師会電子認証センターでは、以下の事業を行います。

1. 医師資格を証明する電子証明書（ICカード）の発行事業

本センターの基幹となる事業として、医師資格を証明する電子証明書ならびに証となるICカードの発行及びICカードの活用。

- 電子証明書の発行に係る登録、審査業務
- 登録個人情報の管理、メンテナンス、安全管理
- 地域や病院における審査局の設置支援業務
- ポータル機能の提供
- その他、ICカード発行に係る必要な事項

2. 認証局を活用するセキュリティを確保した医療IT基盤の整備事業

地域でITを用いた連携基盤を構築する際に日医認証局の利用を促し、標準的な認証手段を提供することで安全・安心な基盤を整備するための事業。


- 医療ドキュメントのe-文書法対応のための、電子署名環境の整備
- 日本医師会医療認証基盤（シングルサインオン基盤）の導入促進による標準的なログイン基盤の整備
- 生涯教育ポイント管理システムの提供
- その他、セキュリティ確保のために必要な基盤の整備（セキュリティ対策支援など）に関わる事項

日本医師会電子認証センターの経緯



2013年5月14日 日本医師会電子認証センター発足

2014年1月 厚生労働省HPKIルート認証局の下に、新たに医師資格証電子証明書を発行する、日医認証局として正式に運用開始。



2月8日より医師資格証の発行作業を開始した。



日医認証局とは(HPKI)

日医認証局とは、厚生労働省が定める「**保健医療福祉分野** PKI認証局」(HPKI:**Healthcare** Public Key Infrastructure)に準拠した認証局である。

HPKIの最大の特徴は、厚労省が所管する医師を始めとする24個の医療分野の国家資格と、院長などの5つの医療機関等の管理資格を証明することができる仕組みを持っていることである。

HPKIと日医認証局の関係について

厚生労働省がHPKIをルール化した時には、日医認証局はHPKIに準拠した認証局を保有していた。

2009年、正式に厚労省ルート認証局と相互に接続を完了した。

日医認証局はHPKIのルール作りの段階からHPKIに関与し、医師の証明を行うHPKIの認証局として先駆的な役割を担っている。

日医認証局の役割

日医認証局とは、医療分野でITを利用する際に、

1. 電子化された医療文書に対して医師本人が書いたことの証明と改ざんの検知をする（電子署名）
2. クラウド・コンピューティングのような環境の中で、医師本人を確認して医療情報を閲覧や記載をする（認証）

ときに使う『基盤』です。

日医認証局のスローガン？

- ◆ 日医認証局を利用することで、セキュリティ高く、安全・安心なITを用いた医療連携を実現する。
- ◆ そのための基盤として日医認証局を推進する。

医師資格証について



医師資格証を一言で表せば

「資格証を持っていれば本人確認ができて、医療のIT化にも対応できる」



医師資格証とは

日本医師会では、セキュリティーの問題から、安全で安心して使えるIT基盤を実現するための、公開鍵認証基盤(PKI: Public Key Infrastructure)の枠組みを使った「日医認証局」を運営。

日医認証局が発行する、医師資格を証明する電子的な証明書を格納したICカードが

『医師資格証』である。

『医師資格証』は顔写真付きなので、提示することで医師であることの証明にも利用できる。

医師資格証の利用用途



1. 電子署名として

コンピューターで紹介状、診断書、主治医意見書など、医師の署名・捺印が必要な文書を作成する場合に電子的な印鑑の機能として利用する。電子署名することで、紙に印刷して署名・捺印する必要がなくなる。



2. 認証(通行証)として

地域医療連携などでは、ネットワークを通じて本人の確認が必要となる。特に、カルテや連携パス等の医療情報を閲覧する場合は、医師であることの確認が必要で、その時に認証(通行証)を使用する。



3. 資格証として

券面に医師資格証と印字しており、顔写真も貼付されている。患者さんに提示することで医師であることを証明できる。



電子署名と認証には安心・安全を守る暗号が使われている。

日医認証局のベースとなる公開鍵基盤(PKI)は暗号技術。

中でも、日医認証局で採用している暗号は「公開鍵暗号」である。

医師資格証を使うための準備

- 医師資格証を使うには、ICチップに格納された情報を読み取るためのICカードリーダーが必要。
- また、電子署名する場合は、ソフトウェアが必要である。

ICカードリーダーについて

ICカードリーダー

市販のICカードリーダー（接触、非接触どちらでもオーケー）であれば利用可能。

SONYなど数社から発売されている。



2014/11/04

lenovo

G50



ENERGY RECOVERY



ACCUTYPE



USB 3.0



一部の機能は、Microsoft Windowsの
インストールが完了するまで利用できません。
詳細は <http://www.lenovo.com>

Medical Doctor Qualification Certificate
医師資格証



Name: Uichi Osaka
 氏名: 逢坂 宇一

Date of birth: 02 JUL 1946
 生年月日: 昭和21年07月02日

JMA Membership ID No: 0000093771
 日医会員ID番号: 0000093771

Medical License No: 216722
 医師登録番号: 216722

Date of expiry: 29 FEB 2020
 有効期限: 平成32年02月29日

カードID: JMA140200052
 発行日: 01 MAR 2014
 平成26年03月01日

上記の者は、医師であることを証明する。
 We hereby certify that the person above mentioned is a member of the JAPAN MEDICAL ASSOCIATION
 公益社団法人 日本医師会




2014/11/04



更新について

新規発行から2年ごと

ICチップに格納された電子証明書の更新が必要。

新規発行から6年後

医師資格証の更新が必要。新しいICカードに切り替わる。



「医師資格証」会費について

日医医師会会員

年会費 5,000円

初年度年会費は無料とする。

(新規日医入会会員も初年度の入会費は無料)

非会員

年会費10,000円



申し込みから利用開始までのスケジュール

【利用申し込み】(1～2週間)

所属の都道府県医師会、郡市医師会、病院などの「**地域受付審査局(LRA)**」に申請書を提出。

申請に必要なもの

- ①発行申請書(写真貼付)
- ②住民票写し
- ③身分証明書(コピー不可)
- ④医師免許証(コピー不可)
- ⑤認印

医師資格証の発行

【医師資格証の発行】(2週間)

地域受付審査局(LRA)より日医電子認証センターに発行要求された申請書をもとに、医師資格証が発行される。

【受け渡し】(利用開始)

申請書に記載された指定の住所に送付される。

※「医師資格証受領書」と、医師資格証の利用会費の支払いに関する書類が届くので、必ず返送のこと。

申し込みから手元に届くまで3～4週間かかる。

医師資格証取得の感想



全国で、ITを活用した医療連携システムが構築されているが、医師資格証はITを活用した医療連携システムにしか利用されていないのが現状である。医療連携システムに興味がない医師には意味がないという意見もある。



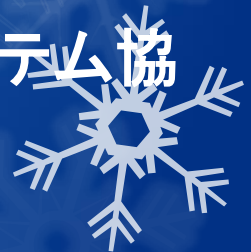
医師資格証と印字してあり、顔写真も貼付されていて、医師であるということを証明でき、なりすまし医師の防止が期待できるのは良い。



「IT化を拒むもの、高齢の開業医にとって紙が一番、医師会役員世代はITが苦手」



(ITによる医療連携：平成26年2月8日、日医医療情報システム協議会より)



(最後に) 医師資格証の今後の展望

1. 身分証としての活用

顔写真を貼付したことで、身分証としての活用が可能となった。

医師会等の内部的には既に身分証として活用することは可能だが、今後、例えば緊急災害時（JMAT活動等）や交通機関で急病人対応のような時に提示して、医師資格保有者であることを証明できるようなカードとして使えるように、また、平時でも各医療機関の採用時における資格確認に利用できるよう、各行政機関にも働きかけをして行く予定。

2. オフラインでの活用

非接触タイプのカードの特性を生かして、セミナーや講習会時にお財布携帯のようなイメージで、カードを読み取り機にかざすだけで出席の管理ができるような仕組みを構築する。

3. オンラインでの活用

これまでの日医認証局の取り組みである、IT世界での「署名」と「認証（通行証）」を更に啓発・普及をする。

平成26年度日本医師会医療情報システム協議会

平成27年2月14日(土)、15日(日) 日本医師会館

メインテーマ: 医療情報の取り扱いはどうあるべきか?

～医療におけるIDの在り方～

医師資格証関係

- 1) 医師資格証の発行申請ブース(1階ロビー)
- 2) 協議会受付で、医師資格証の「出欠管理アプリケーション」を試行的に利用する。